

高速道路休憩施設の機能と立地特性に関する研究

-地域と連携した整備・活用に向けた一考察-

A Study on functions and location characteristics of expressway rest areas

-Towards development and utilization in cooperation with the local community-

○加藤幹基 1, 山中新太郎 2, 三宅貴之 2

*Motoki Kato1, Shintaro Yamanaka2, Takayuki Miyake2

In Japan, expressway rest areas, once serving only highway users, are now increasingly linked to surrounding communities through external access and regional initiatives. This study analyzes 214 facilities of NEXCO Central Japan, using surrounding population and parking capacity to Classify them into four types. Results indicate that large facilities attract wide-area users even in sparsely populated regions, while small ones in dense areas function as local daily hubs. These findings highlight differentiated roles of rest areas, and future municipal surveys will Clarify planning elements that foster stronger and sustainable community collaboration.

1. 序論

1-1 研究背景

サービスエリアやパーキングエリアなどの高速道路休憩施設（以下「休憩施設」とする）は、従来、高速道路利用者のみを対象とした施設で、周辺地域の住民は利用できなかった。近年、休憩施設と連携した周辺地域開発や、休憩施設を周辺地域に開放する整備により、地域との新たな関係性が形成されつつある。

一方で、休憩施設は高速道路上に計画され、休憩施設の間隔や道路線形などの制約により、その立地や機能は周辺地域の実情とは必ずしも一致しない。用地の関係から市街地での整備は難しく、多くが郊外に立地し市街化調整区域周辺に位置する事例も少なくない。

1-2 研究目的

本研究の目的は、休憩施設の立地条件や施設特性を整理し、どのように分類できるかを検討することで、休憩施設整備の実態を分析することである。これにより、多様な地域特性に応じた整備・活用の方向性を検討するための知見を得ることを目的とする。

2. 研究方法

休憩施設とそれらが所在する市町村の類型化と検討に向けて、本研究では中日本高速道路株式会社(以下NEXCO 中日本)の 214 の休憩施設を対象⁽¹⁾とし、立地と機能に関して集計を行う。項目を表1に示す。

表1 立地と施設に関する指標

	項目	定義	データ入手先
立地	周辺人口	休憩施設から2km以内の人口を算出(人)	国土数値情報
	代表沿道状況	当該交通調査基本区間等で構成する道路状況調査単位区間の代表沿道状況を5つに区分したものを	令和3年度全国道路街路交通情勢調査
	区域区分	休憩施設から500以内の区域区分を集計	都市計画決定に関するGISデータの全国データダウンロードページ
機能	施設・サービス	休憩施設の施設・サービスの有無を集計	NEXCO中日本
	駐車場台数	休憩施設の駐車場数(小型)を利用(台)	NEXCO中日本

表2 代表沿道状況と区域区分

項目	カテゴリー名	件数	割合
代表沿道状況	山地部	113	53%
	平地部	82	38%
	その他市街部	11	5%
	人口集中地区(商業地域を除く)	8	4%
	人口集中地区かつ商業地域	0	0%
区域区分	区域区分なし	100	47%
	市街化調整区域	69	32%
	市街化調整区域と市街化区域の両方	45	21%
	市街化区域	0	0%

表3 施設・サービスと駐車場台数

機能あり	機能分類	施設数	駐車場台数平均
	飲食	40	
その他	96		
入浴・宿泊	24		
販売	90		
機能なし		28	29.75

3. 休憩施設の現状整理

3-1 立地特性の整理

立地に関する指標の内、代表沿道状況と区域区分⁽²⁾の内訳について表2に示す。代表沿道状況をみると、休憩施設の半数以上が山地部にあることがわかる。続いて、平地部に位置する施設が多く、人口集中地区かつ商業地域に位置する休憩施設は見られない。

次に、休憩施設周辺区域区分をみると、休憩施設の約半数が区域区分のない地域に計画されている。また、休憩施設の半数以上が市街化調整区域周辺に位置していることがわかる。

3-2 機能の整理

施設・サービスと駐車場台数の内訳について、表3に示す。NEXCO 中日本のHPからは休憩施設の設備・サービスとして46の項目が確認できたが、そのうち、バリアフリートイレやハイウェイスタンプといった基本

設備・サービスを除き、休憩施設を特徴づける機能として23の項目と4つの分類に整理した。駐車場台数について、機能のない休憩施設の小型駐車場台数の平均は29.75台に対し、機能のある休憩施設は102.74であり、機能のある休憩施設の方が駐車場台数が多いことがわかる。

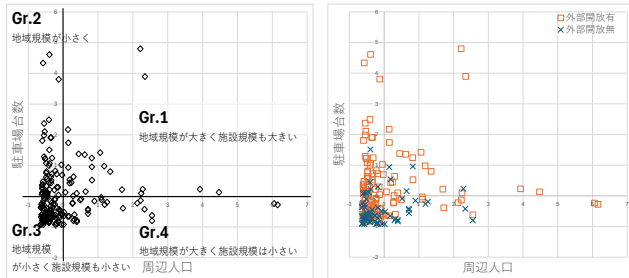


図1 散布図

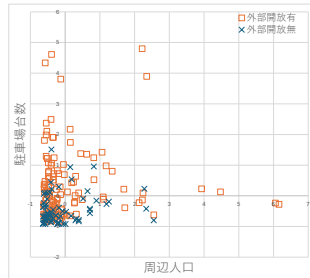


図2 外部開放

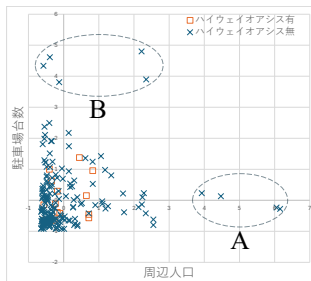


図3 ハイウェイオアシス

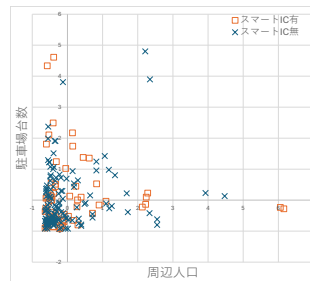


図4 スマートIC

表4 地域との関り

	外部開放			ハイウェイオアシス			スマートIC		
	無	有	割合	無	有	割合	無	有	割合
Gr.1	26	5	21%	23	3	12%	15	11	42%
Gr.2	53	8	45%	50	3	6%	36	17	32%
Gr.3	105	50	52%	98	7	7%	73	32	30%
Gr.4	30	16	47%	28	2	7%	19	11	37%

4. 休憩施設と地域との関り

4-1 立地特性と機能の可視化

図1に休憩施設の現状を散布図で示す。代表沿道状況と区域区分といった立地特性は生活利便性や人口規模と関連するため周辺人口を指標とし、人口が多いほど都市部に近いと解釈する。施設特性は駐車場台数を用い、台数が多いほど規模・機能が大きいとした。指標を標準化し、散布図を第一～第四象限に分け、各象限をGr.1～Gr.4とした。

4-2 地域との関り

地域との関りについて、表4に、現段階で把握できる整備の内容を3つ示す。また、図2から図4には散布図上で3つの整備の分布を図示した。以下、休憩施設の特徴から地域との関りについて考察する。

(1) 外部開放

外部開放の割合が多いのはGr.1とGr.2である。Gr.2について、施設規模が大きく多様な機能を持つ休憩施設も多いため、周辺人口が少なくても、広域からの集客が見込める施設として期待されていると考えられる。一方でGr.4は外部開放の割合が最も少ないが、図2から、周辺人口が多いほど外部開放が行われていることがわかる。施設規模は大きくないものの、周辺人口が多く需要が大きいことから地域の身近な生活利便施設としての役割が期待されていると考えられる。

(2) ハイウェイオアシス

ハイウェイオアシスの割合が最も多いのはGr.1であるが、どのグループも同程度の設置水準である。図3から、周辺人口が多い領域には分布していないことがわかる。特に、Aの休憩施設はすべてが人口集中地区に位置している。同様に、駐車場台数が多い領域にも分布していないことがわかる。特に、Bの休憩施設は飲食・販売・宿泊など多様な機能を持ち、それ自体が明確な機能を持つため、新たにハイウェイオアシスとして機能を併設する必要が少ないと考えられる。

(3) スマートIC

休憩施設の立地や規模に関わらず、スマートICは全てのグループで同程度に設置されている(表4)。スマートICは主に自治体の要望により整備され、近隣の一般道から高速道路本線へのアクセスが可能になる。その結果、副次的に休憩施設の利用も可能となるが、高速道路利用が前提となる。したがって、スマートIC設置の要望は本線アクセスを目的としており、休憩施設の立地や機能には大きく依存していないと考えられる。

5. 今後の展望

休憩施設の地域との関りは、施設規模や機能だけでなく立地も関係していることが明らかになった。今後は周辺自治体に対して休憩施設活用に関するアンケート調査を行い、近隣の施設や具体的な機能などどの要素が周辺地域との関係性の構築に寄与しているのか考察することを目指す。

6. 脚注および参考文献

- 高速道路の上り線・下り線には同名の休憩施設が存在する場合があるが、機能や立地が異なる場合があるため、それぞれを別の休憩施設として扱う
- 対象の休憩施設のプロットを作成し、半径500m以内の区域区分を集計
- 中日本高速道路株式会社：ドライブバースサイト (最終閲覧日：2025/9/19) <https://sapa.c-nexco.co.jp/search/highway>
- 国土交通省：事業者への民間事業者等の参入促進 (最終閲覧日：2025/9/19) https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/sapa_jigyoy/
- 国土交通省：国土地理情報ダウンロードサイト (最終閲覧日：2025/9/19) <https://nlfp.mlit.go.jp/>
- 国土交通省：全国道路・街路交通情勢調査 (最終閲覧日：2025/9/19) <https://www1.mlit.go.jp/road/census/r3/index.html>
- 国土交通省：都市計画決定GISデータ 全国データダウンロードページ (最終閲覧日：2025/9/19) https://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi_tosiko_tk_000087.html
- 橋本 剛志、深井 祐輔、サキヤラタ、井本 佐保里、大月 敏雄：高速道路休憩施設の外部開放の実態と地域連携の可能性に関する研究 日本建築学会技術報告集22巻(2016)51号
- 岩崎 寛、牛田 圭亮：高速道路休憩施設の緑地空間に対する地域住民の利用と意識に関する調査 日本緑化工学誌44巻(2018)1号